

4Z-1

# 移住者主導型ネットワークコミュニティ形成支援システムの提案

新沼 孝徳 高橋 定義 佐々木 淳 米田 多江 船生 豊

岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科

## 1 はじめに

近年,都市型生活から田舎暮らしへのライフスタイルの転換を志向する人が増えている [1].

一方,移住後に地域コミュニティを形成するにあたり,生活習慣の違いによる不安や近隣住民との人間関係形成に時間がかかるという問題もある.これに対し最近では,移住前にコミュニティを形成してから建物を設計するという新しい福祉マンションの試みが注目されている [2].移住前にコミュニティを形成することの利点は,移住後の実際のコミュニティ形成へスムーズに移行できることや居住スペースの構造,機能の設計に住民の意見を反映できる点である.

著者らは一般の新規分譲地にもこの福祉マンションの考え方を取り入れ,そこに移住する人々が事前にコミュニティを形成するプロセスについて検討している.今回,そのプロセス実現を支援するための情報システムについて提案し,開発状況について報告する.

## 2 コミュニティ形成プロセス

新規分譲地において移住前に新しいコミュニティが形成されるケースとして,我々は次のような前提条件がある場合を検討対象とした.

**条件1** 複数の新しい宅地を有するまとまった区画を分譲する

**条件2** 地方の新規開拓地など既存のコミュニティが未発達の場合である

**条件3** 対象の土地は,移住する人の現住所からは遠隔地にある

次に上記の前提条件の下にコミュニティが形成されるプロセスは,情報入手から決定まで段階的に進むと仮定し,その段階を Step1~3 に分けることにした.

**Step1** 情報を入手する段階:移住先に興味がある人たちが情報を入手し,検討する段階.

**Step2** 移住を希望する段階:土地の販売条件や,環境,他にどんな人たちが希望しているのかを調査する段階.

**Step3** 移住をほぼ確定する段階:移住予定者同士のコミュニティ作りが始まる.その土地環境についての要望や,人間関係も含めて具体的な意見交換がなされ移住の最終決定をする段階.

## 3 コミュニティ形成支援システムの提案

### 3.1 システム構成

2章で述べたプロセスに対して,情報通信技術を活用して円滑な達成を図るためのネットワークコミュニティ形成支援システムについて提案する.システム構成を図1に示す.Webサーバに土地管理者と対象者をインターネットで接続し,データベースとして会員管理DBと土地情報DBの2つを設ける.本システムに主な機能は大きく分けると,情報提供,コミュニケーション,会員管理の3つである.実験システムでは,以下の機能を実現す

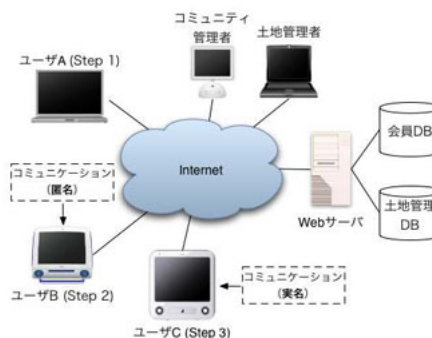


図1: システム構成

ることとした.各機能の概要を以下に示す.

### 3.2 情報提供機能

**Web サイト** :管理者や既住民がインターネットを通じて移住先のホームページでの情報を提供する.

**ライブカメラ** :移住対象地の現在の風景をリアルタイムで見ることができる.そのライブカメラの遠隔操作が可能である.

**パノラマ画像** :移住対象地の周囲の状況が360°見渡し画像で確認可能なコンテンツを提供する

### 3.3 コミュニケーション機能

**TV 会議** :移住希望者が土地管理者と顔を見ながら相談できる

A proposal of a support network system for the construction of new local community  
Kotoku NIINUMA, Sadayoshi TAKAHASHI, Jun SASAKI, Tae YONEDA, Yutaka FUNYU  
Faculty of Software and Information Science, Iwate Prefectural University  
152-52 Sugo, Takizawa, Iwate, 020-0193 Japan

**掲示板**：移住希望者や土地管理者及び既住民が意見交換をする

**メーリングリスト**：利用者同士の連絡や意見交換を行う

### 3.4 会員管理機能

**会員登録**：Step2では匿名による自由でゆるやかなコミュニケーションを,Step3では実名による具体的な生活に関わるコミュニケーションを支援する

各Stepとそれぞれの機能の必要性の有無を表1に示す。

表 1: 各 Step とそれぞれの機能の必要性の有無

機能	情報提供			コミュニケーション			会員管理	
	HP	LC	PP	TVC	BBS	ML	匿名	実名
Step1	○	○	○	○	×	×	×	×
Step2	○	○	○	○	○	○	○	×
Step3	○	○	○	○	○	○	×	○

注) ○…必要, ×…不要,HP…ホームページ,LC…ライブカメラ,PP…パノラマ画像,TVC…TV会議,BBS…掲示板,ML…メーリングリスト

## 4 実験システム (Step1) の構築

提案システムの有効性について検証するために、まず Step1 での機能について実装し、2004 年 3 月に実際のフィールド (岩手県雫石町) に導入した。ただしシステムの動作を確認するまではインターネット接続による公開は行っていない。本実験システムの構成を図2に示す。

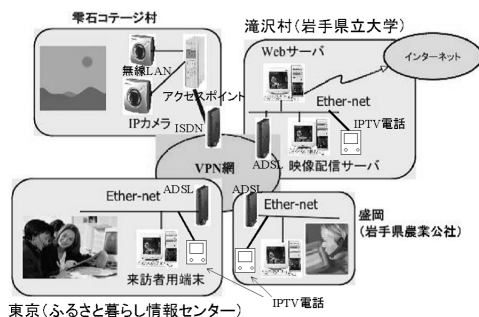


図 2: 実験システムの構成

本システムの内容は以下の通りである。

- 分譲対象地 (雫石コテージ村) に IP カメラを 2 台設置して実時間の映像配信を実施
- 岩手県立大学に Web サーバと映像配信サーバおよび IP テレビ電話を 1 台設置
- 東京の「ふるさと暮らし情報センター」に来訪者用のインターネット端末 (PC) および IP テレビ電話を 1 台設置

- 土地販売管理者である岩手県農業公社 (盛岡市) に PC と IP テレビ電話を 1 台設置

各拠点は NTT 東日本のグループアクセス (VPN 網) で接続した。当初は PC 上の NetMeeting のみによる TV 会議を利用していたが、音声遅延と画質が不鮮明であることから 2004 年 11 月からは IP テレビ電話を導入し併用している。本システムの東京での利用の様子を図3に示す。これまでの利用者からは、「現地の映像が見られる点が良い」、「顔を見て相談すると信頼できる」などの意見が寄せられている。しかし、システムの利用者はまだローカル端末に限られた少数であるため実際の移住者を獲得するまでには到っていない。また技術的課題としてはライブカメラの通信環境は、ブロードバンドサービスが受けられない地域であるため ISDN としたが、伝送速度が小さく (64kbps × 2)、リアルタイム性が表現しきれないこと、またパノラマ画像の提供では作りこみが煩雑であることなどが挙げられる。



図 3: 利用の様子

## 5 まとめと今後の予定

本稿では新規分譲地に興味のある人を対象に移住前にコミュニティを形成するという新しいコミュニティ形成プロセスとその支援システムを提案した。また実験システムを実際のフィールドに導入し、利用者の興味を引き出すのに効果的であることを確認した。今後は本システム Step1 についてインターネットへの公開を行う。また,Step2,3 に向けてのセキュリティ確保など運用面での検討を行い、会員登録用の DB を構築する。

### 謝辞

本研究は (株) 生活科学運営と (社) 岩手県農業公社との共同研究により実施しているものである。両社ならびに NPO 法人コミュニティネットワーク協会の関係各位に感謝申し上げます。

### 参考文献

- [1] 日本経済を動かしている 10000 人のビジネスリーダーのためのマーケティングサイト 都心生活者はなぜコミュニティ志向が高いのか ネットコミュニティ論考 URL <http://www.jmrlsi.co.jp/menu/report/2002/community.html> JMR 生活総合研究所
- [2] 斉藤弘子・島村八重子 「福祉マンションにある暮らし」, 春秋社, 2002